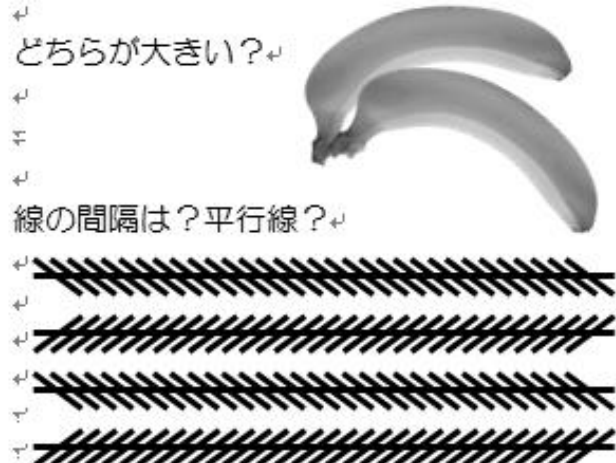


● どんな実験・工作なの？

錯視とは、目の錯覚のことで、ものごとを実際とは異なるように思ってしまう現象のことです。その中には、大きさが異なって見えるもの、形が異なって見えるもの、明るさが異なって見えるもの、色が異なって見えるもの、動きが異なって見えるものなど様々な種類があります。

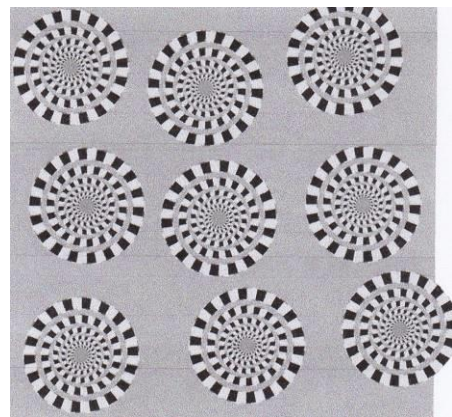
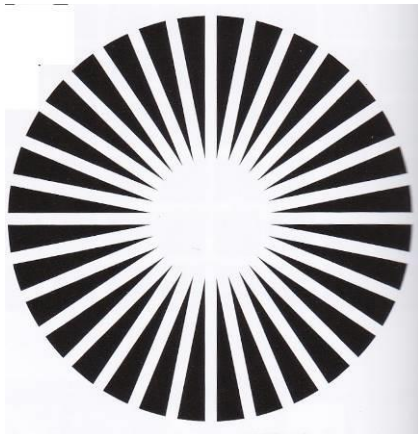
この実験では錯視の様々な側面を紹介して、目でものを見ることの不思議さについて一緒に考えたり楽しんだりしたいと思います。

＜形や大きさが異なって見える錯視の例＞ 小池講師



＜明るさや色が異なって見える錯覚の例＞ 藤原講師

実験解説書はモノクロ印刷なので、色の錯覚は会場で体験しましょう
中央が輝いて見える。 くるくる回って見える



● 気をつけよう！

はさみなどを使うときはけがをしないように注意してください。

● もっと詳しく知るために

- この実験の型紙は、「トリックアート工作」という本から印刷しました
「トリックアート工作」：あかね書房
- いろいろな種類の錯覚は「錯視図鑑」という本から印刷しました。
「錯視図鑑」：誠文堂新光社